



13
魚に水藻図額
瀧和亭
1面
明治17年(1884)
絹本着色 48.5 × 73.0
三の丸尚蔵館

14
藤に牡丹図額
荒木寛畝
1面
明治17年(1884)
絹本着色 48.5 × 72.5
三の丸尚蔵館



15
水仙図額
野口幽谷
1面
明治17年(1884)
絹本着色 48.5 × 73.0
三の丸尚蔵館

これらは明治17年(1884)に宮内省より日本画家に対して延遊館の室内装飾画として依頼され、大中小あわせて20面が制作された。主題は花鳥に求められ、日本の四季折々の植物が写實的に描かれている。延遊館の洋風の室内空間に合わせて、当時の日本画には珍しい額装形式を取り入れ、黒塗の額縁には花唐草文様の高蒔絵がほどこされている。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

明治の御慶事 — 皇室の近代事始めとその歩み

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 80

編集 宮内庁書陵部

宮内庁三の丸尚蔵館

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

制作 艸藝社

平成三十年四月二十八日発行

© 2018

The Archives and Mausolea Department
The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan
Imperial Household Agency